

初心者が「見よう見まねで

とにかく
ちゃんみよーしー



そんなに重要？

品質工学を使ってみた結果

**初心者の頃の俺は、
品質工学セミナーを受講後、
自分の事例で品質工学を使うべく、
用意周到に実験の準備をした**



そして、初めての品質工学にワクワクしながら、
直交表実験を行った



最適条件が求めたので、満を持して

(当時所属していた)品質工学研究会で発表をした



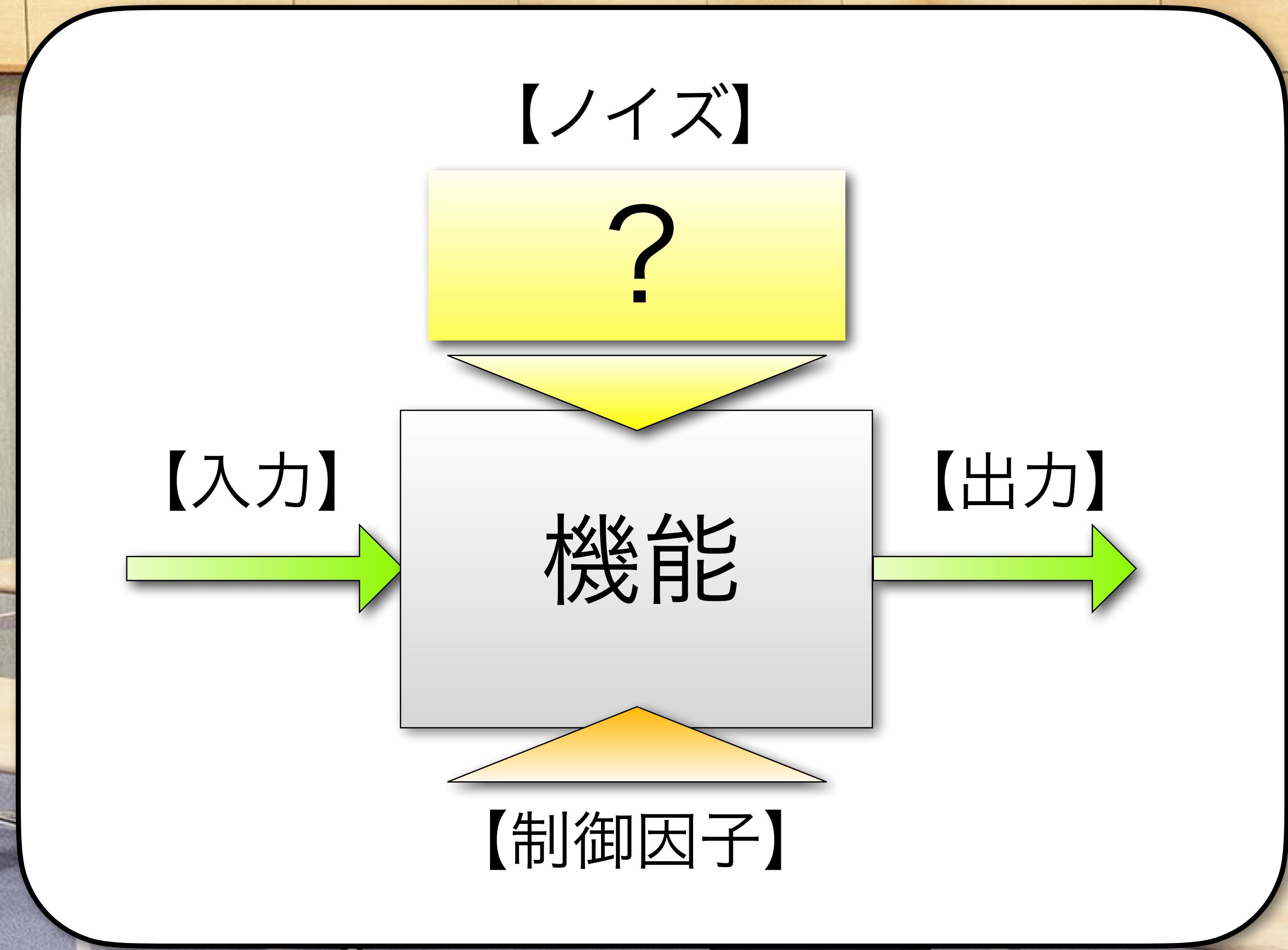
すると、

あるベテラン会員からトシデモナイ指摘を受けた



「ノイズ(誤差因子)を設定していない」

という指摘であった



俺は品質工学におけるノイズ(誤差因子)の考え方は知っていたのだが

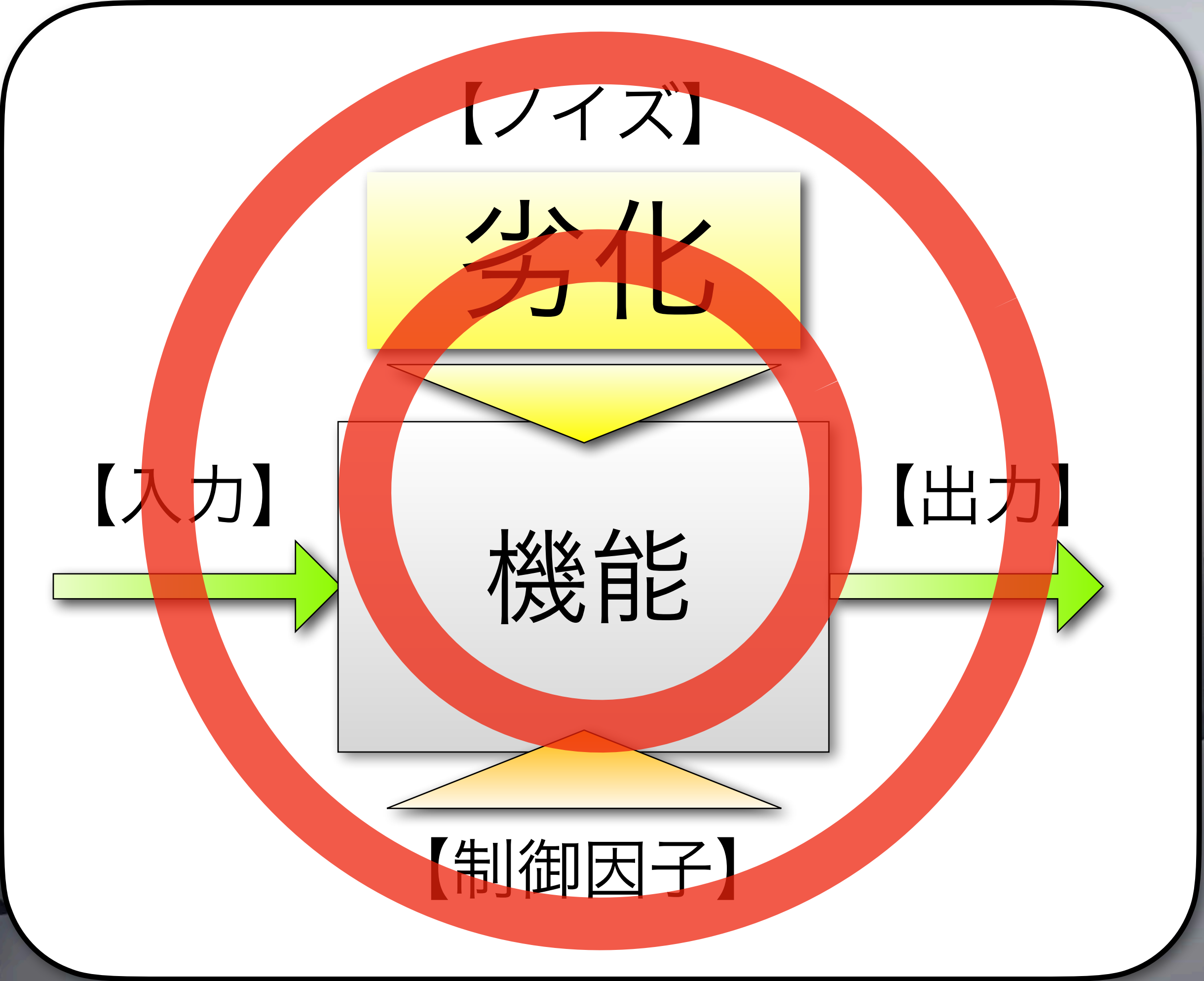
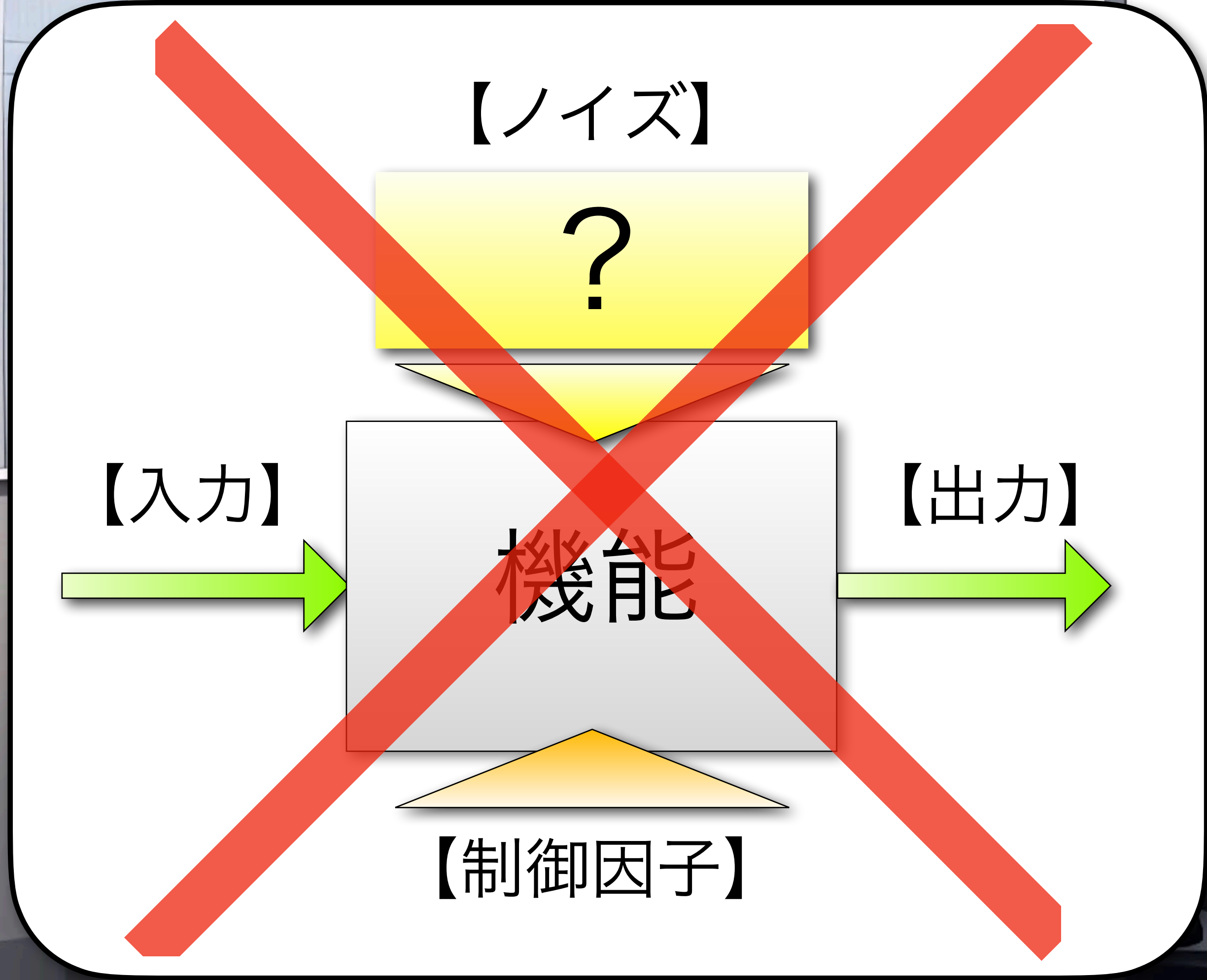


『ノイズの設定は省略してもいいだろう』と軽く考えて
ノイズ無しで直交表実験に進んでしまったのだ





これが大きな間違いだった



品質工学では、
「ノイズに強い(SN比が高い)条件を求める」
→その結果「品質トラブルが減る」
というロジックを大切にしているのだ

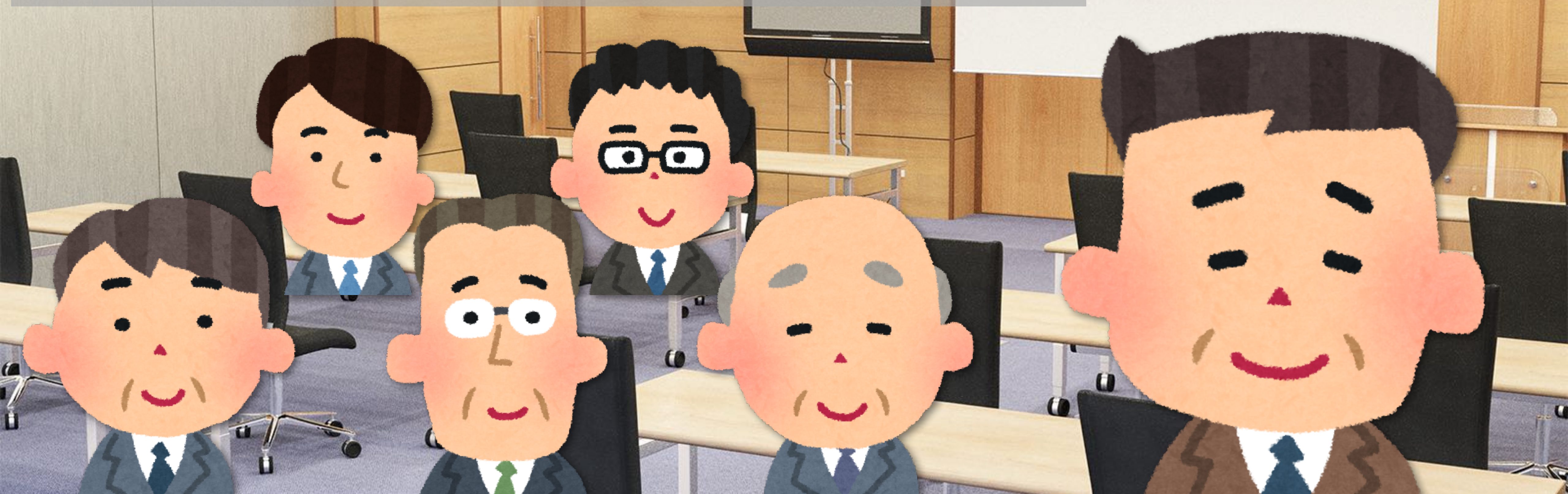


そんなこととは露知らず、
俺は「ただ直交表実験をしただけ」だったのだ



そんな俺の研究に対して、品質工学研究会の会員の態度は、
とても紳士的だった。

間違っただことを責めるのではなく、
冷静にアドバイスを伝えてくれたのだ



このような場面で、もし感情的に叱責されていたら、
(この時点で)品質工学をやめていたかもしれない



しかし、俺が所属していた研究会では、
感情的に叱責されることはなかった。
改善点を冷静に、丁寧に説明してくれたのだ



だから俺には、
「失敗して恥ずかしい」という感情も湧かなかったし、
逆にやる気が増した



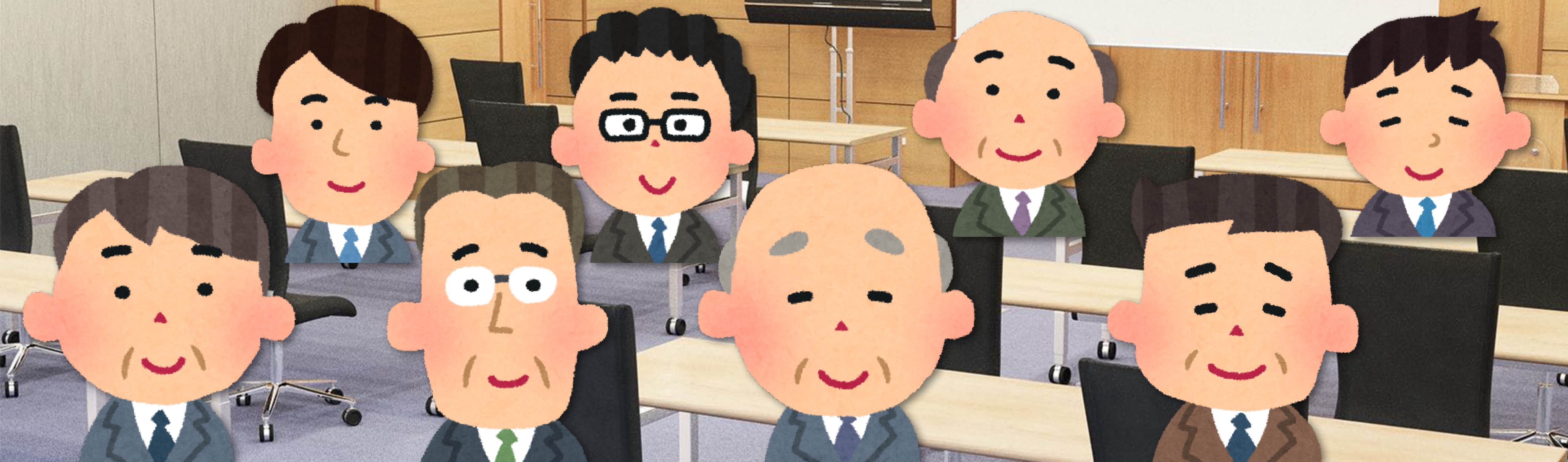
俺は、アドバイスに従って直交表実験をやり直し、
有意義な結果を得ることが出来た



今でも(その時の)研究会会員の冷静なアドバイスには
感謝をしている



だから、「これから品質工学にチャレンジしよう!」と考えて
いる皆さんにも、
ぜひ品質工学研究会に入会することをオススメしたい



但し、研究会にも個性や相性というものがあるので、
もしも「この研究会の雰囲気は合わないな」と感じたら、
別の研究会に移ることも大切だと思う



いかがでしたか？



高評価、チャンネル登録などは不要です。

この動画が

品質工学に興味を持つきっかけになってくれれば

私は嬉しいです。

有限会社
増田技術事務所
(公式チャンネル)

もっといい 品質工学



有限会社増田技術事務所 (公式チャンネル)

